

# from 令和6年8月発行 ほうかつ

**特集!**

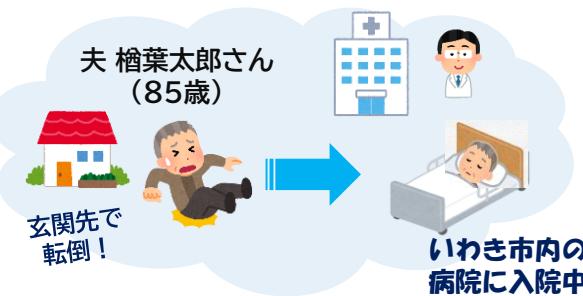
## 様々な職種がチームを組んで課題を解決! ～進む! 檜葉町の多職種連携～

檜葉町では、医療・介護・福祉等の分野での「多職種連携」が進んでいます。多職種連携とは様々な職種がチームを組んで連携することを言い、専門機関だけでなく、もちろん町民の皆さんもチームの一員です。

今回は、事例を読み解きながら、檜葉町で進む多職種連携の今をご紹介します!

### ◆こんなときどうする?～事例から読み解く高齢世帯への支援～

#### 檜葉さん夫婦(夫85歳、妻83歳)の事例



夫(太郎さん・85歳)は、先月玄関先で転倒し、大腿骨を折る大けがをいたしました。現在、いわき市内の病院に入院中ですが、体力も少しずつ回復し、退院に向けたリハビリも始まりました。



妻(ゆり子さん・83歳)は、夫の長期入院により現在一人で生活しています。民生委員さんの訪問時、ゆりさんは閉め切った部屋で過ごしており温度計は30℃を示していました。民生委員さんの声掛けによりエアコンを使用しましたが、ゆりさんは「暑くない」と話します。最近のゆりさんの様子を心配し、民生委員やご近所の方から地域包括支援センターに相談が入りました。

### ◆多職種連携の動き～入院中から退院後の在宅生活まで～

太郎さんが入院中の段階から、地域包括支援センター等が医療機関の窓口(医療ソーシャルワーカー)と連携し、太郎さんの意向を確認しながら、退院後の在宅生活に必要なサービスの提案や支援を行いました。



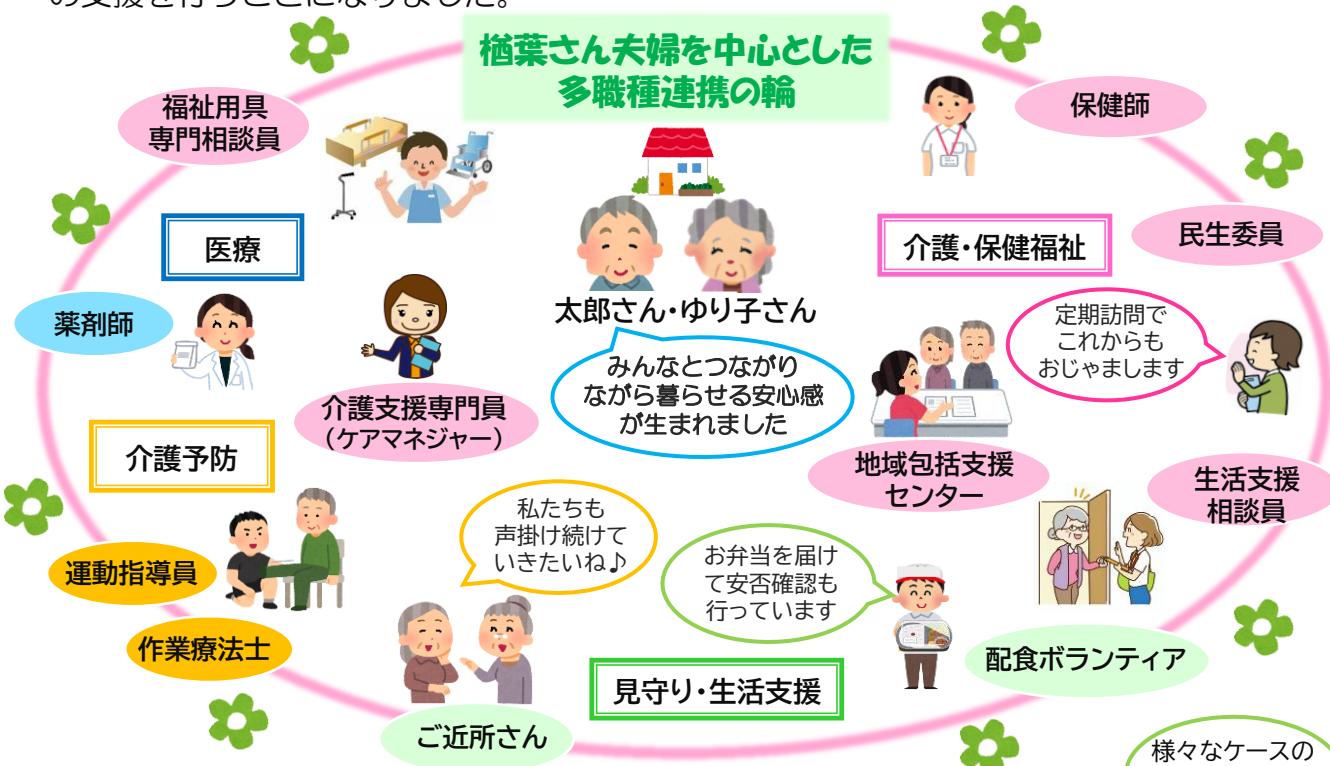
#### <在宅生活に向けた主な連携先>

- 医療機関(医療ソーシャルワーカー等)
- 町保健福祉課(介護保険係、介護認定調査員等)

太郎さんが入院中に介護保険申請を行う場合は町保健福祉課介護保険係が申請窓口となり、介護認定調査員が入院中の太郎さんを訪問して心身の状況等の聞き取りを行います。その後、調査結果と主治医意見書をもとに要介護認定が決定します。

### ◆広がる多職種連携の輪～檜葉さん夫婦のその後～

太郎さんは、入院中に介護保険申請(地域包括支援センターによる代行申請)を行った結果、「要介護1」の認定を受けました。生活の一部に介護が必要な状態であるため、介護支援専門員(ケアマネジャー)が中心となり、太郎さんの在宅生活に必要なサービスの調整や支援(福祉用具の導入、薬剤師との連携、介護予防教室の利用等)を行うことになりました。また、地域包括支援センターも加わり、ケアマネジャーをはじめとした多職種(保健師、民生委員、生活支援相談員、配食ボランティア、ご近所の方たち等)と連携して、太郎さん、ゆり子さんの健康状態や安否確認等の支援を行うことになりました。



### ◆多職種連携での協議の場～地域共生ケア会議のご紹介～

通常支援を行う上で課題解決が難しいケースについては、町や地域包括支援センターをはじめとした関係機関が集まり、地域共生ケア会議を開催しています。会議では、ケースの現状把握や課題の抽出を行い、対象となる方の希望する暮らしに向けて、必要な支援方針等を協議しています。

### ここがすごい! 檜葉ならではの多職種連携!

檜葉町の多職種連携のすごさは、医療・介護・福祉等の専門職が分野を超えてタッグを組み、情報共有しながらそれぞれの専門性を発揮し、一人ひとりのニーズに合った支援を実践していることにあります。また、町民の皆さんもチームの一員であり、普段の気に掛け合い、声の掛け合いが地域の大きな力となっています。

医療・介護・福祉・地域のチーム連携により、「点」ではなく「面」でその方よりよい暮らしを支えることができ、檜葉町の目指す地域包括ケアシステム(医療・介護・福祉・地域支え合い等の一体的な体制)の実現が可能となります。

高年齢者・障がい者の総合相談窓口  
TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156  
〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)  
Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽にご相談ください。

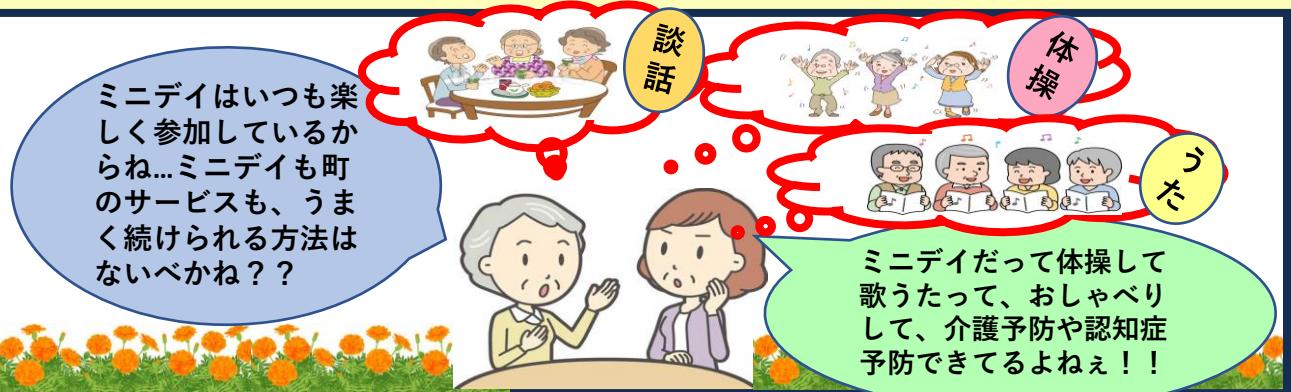
# ミニデイに参加して素敵な場面を見つけました!

ある日の  
ミニデイ



A子さん

A子さんは83歳。ひとり暮らしの女性。町のサービスも利用しながら、健康の維持向上に努めています。物忘れはありますが、近所の方などの支えもあり一人暮らしが続けられています!



これは、まさに「**チーム・オレンジ**」

「**チーム・オレンジ**」とは、町に暮らす私たちが一つのチームとなり認知症の方への見守りや声掛けができるような早期支援のネットワークです。ミニデイでは、顔の見える関係性が構築されており、自然と支え合いが生まれているんですね。ミニデイが積極的に開催されている檜葉町ならではの「**チーム・オレンジ**」ですね!! 何気なく行っている皆さんの行動がチーム・オレンジの活動です。これからもより多くの方にチームオレンジの一員になっていただき、一緒に活動していきたいと思っています。

## 檜葉町地域包括ケアシステム

# まじわる つながる 支え合う リレー

檜葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。介護保険係から子育て支援係にバトンが繋がりました。

第2走者



—檜葉町こども課—  
子育て支援係

### 子育て支援係は、母子保健と児童福祉についての申請・相談窓口です

- \* 病院へ行き、子どもを授かったことが判明したら・・・一番最初にすることは??  
※母子健康手帳をつくることですね。 ※子育て支援係が母子健康手帳を交付しています。子どもが生まれる前から関わりがスタートするととても重要な役割を担っています。
- \* 妊娠期間中や子どもが生まれてからも様々な検診を支援。そして、こども園に入園し、小学校、中学校、高校卒業までの子育て期間に深く関わっています。直接的に関わる場面は少ないですが、私たち子育て支援係はすべての子どもの幸せを第一に考え、子どもたちの人権が守られ健やかな心身の発達が促されるよう支援しています。子どもたちだけではなく、子育てをしているすべての親・家庭も同様に支援をしています。
- \* 子育て支援係の中には、子育てや教育など様々な場面で課題を抱えた時、一人ひとりの状況に寄り添ってサポートを行う子育て世代包括支援センターがあります。複合課題を抱えるような事例では、地域包括支援センターと情報を共有し連携しています。地域包括支援センターが運営する地域共生ケア会議を通して事例を検討すると、広い視野からの意見が得られるのでとても頼れる存在です!!
- \* 「檜葉町で子育てをしたい。」「子育て支援があるから安心できる。ホッとできる。」そんな言葉が町民から聞かれるような地域支援を行っていきたくと思っています。

### ～ みんなのつぶやき～



センター長 江尻

冷蔵庫が壊れて、4日間不自由な生活を送りました。身近にある「当たり前」に感謝です。

## 感謝



社会福祉士 渡邊

人生はじめての、キャベツづくり。「こんな感じで球になっていくんだ」と様子が見れて毎日楽しいです。



生活支援コーディネーター 小林

かき氷の季節となりました。私は子どもの頃からブルーハワイ一択です!



看護師 馬上

猛暑日とは、1日の最高気温が35℃以上の日の事を言うそうです。



\*水分補給  
\*クーラー使用